

沖縄県人事委員会事務局 障害者活躍推進計画実施状況

評価年度	令和6年度
目標に対する達成度	1 採用に関する目標 (1) 評価方法1（研修案内、受講の実績） ア 事務局職員全員に対し、障害者の雇用推進に関して理解促進を図るため、研修の案内や参考資料の回覧を実施した。 (7) 人事課主催研修「沖縄県障害者雇用研修」 a 令和6年11月8日 b 参加人数2人（計画担当者及び採用試験担当者） c その他の職員全員に資料の回覧を行った。 (イ) 厚生労働省主催講座「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」 a 令和7年3月25日（e-ラーニング版） b 参加人数1人（計画担当者） c その他の職員全員に資料の回覧を行った。 イ 令和6年度の転入職員に対し、令和5年度までに実施した研修資料の回覧を行った。 (2) 評価方法2（職員へのアンケート等による理解度の把握等） ア 理解度テスト（実施日：令和7年3月26日～28日） 正答率・・・95.0%（全5問） イ アンケート（実施日：令和7年3月26日～28日） 研修の必要性を感じるものであった・・・93.8% 研修の資料やレベルは適切であった・・・81.3% 研修の内容を理解できた・・・81.3% 研修の内容が今後役に立つと思った・・・87.5%
	2 定着に関する目標 (1) 評価方法（障害者の在籍状況により、定着状況を管理） 障害者の在籍がなかったため、特になし。
取組内容の実施状況	1 障害者の活躍を推進する体制整備 (1) 事務局職員全員に対し、障害に関する理解促進・啓発のための研修を実施した。
	2 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出 (1) 「プライバシーに配慮した障害者の把握・確認ガイドライン」に基づき、当該計画や人事管理等の運用のため、任意で障害者手帳の写しの提供を求め、障害者の把握に努めた。
	3 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理 (1) 障害者の在籍がなかったため、環境整備等の取組の実施はなし。

	(2) 会計年度任用職員の募集と採用にあたっては、以下の取扱いを行わず、広く募集を行った。 ・ 特定の障害を排除し、又は特定の障害に限定する。 ・ 自力で通勤できることといった条件を設定する。 ・ 介助者なしで業務遂行が可能といった条件を設定する。 ・ 「就労支援機関に所属・登録しており、雇用期間中支援が受けられること」といった条件を設定する。 ・ 特定の就労支援機関からのみの受入れを実施する。 4 その他 (1) 障害者就労施設等への発注について 障害者就労施設から菓子等を購入し、職種別民間給与実態調査の調査対象事業所への報償品として配付した。 (2) 障害者を対象とした職員採用選考試験の実施状況 任命権者の意向を確認の上、平等取扱いの原則に基づき、特定の障害に限定しない障害者を対象とした沖縄県職員採用選考試験を実施した。 また、あらかじめ補助具の持ち込みの希望や必要な配慮について確認し、受験の際は、障害に応じた対応ができるよう努めた。
「目標に対する達成度」及び「取組内容の実施状況」に対する点検結果	1 目標に対する達成度について 令和6年度は、研修の受講や資料等の回覧を行うことにより、全職員がいずれかの研修を受講することができたため、事務局職員の理解促進の取組を行うことができた。 今年度の理解度テストでは、正答率が95.0%と前年度の86.5%より8.5ポイント上昇するなど、職員の理解が促進されていることを確認できた。 職員採用試験や職員からの相談等の業務を実施する事務局の職員は、障害者の活躍を推進する意義を理解し、業務に生かすことが必要であるため、今後も全職員に対する研修を継続して実施したい。 2 取組内容の実施状況について 概ね計画どおり実施できた。
計画の見直し・修正	特になし。